

平成 29 年度滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」第 4 回合同研修会 開催報告概要

核家族化や地域社会のつながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えた保護者の増加等、家庭教育の困難な現状が指摘されています。そこで、家庭教育支援関係者や子育て支援関係者等が一堂に会し、家庭教育支援のための有効な手立てを具体的な事例をもとに学ぶ機会として開催しました。

◆日時：平成 29 年 11 月 2 日（木）13:00～16:15

◆会場：滋賀県庁東館 7 階大会議室

◆内容：

《講演》（13:20～14:20）

演題：「家庭教育支援の推進について」

講師：文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室長

齋藤 憲一郎 氏

齋藤氏より、家庭を取り巻く環境、家庭教育支援をめぐる動きを踏まえ、身近な相談相手がないなど、家庭教育支援を行う上で保護者の悩みに寄り添うため、家庭教育支援チームの取組が有効な施策であることや地域の実情に応じた取組を展開することが重要であると御示唆いただきました。



○参加者の声（抜粋）

- ・「国の家庭教育支援の方針をホームページで見えていましたが、直接説明を伺い、大変よくわかりました。」
- ・「大変良い機会でした。講演内容は、現在の私たちのこれからの姿ですが、追いつけるようにがんばりたいです。」等の感想が寄せられました。

《事例発表》(14:20～15:00)

演題：「湯浅町家庭教育支援チーム「とらいあぐる」の取組について」

事例発表者：和歌山県有田郡湯浅町家庭教育支援チーム「とらいあぐる」

スクールソーシャルワーカー 上田 さとみ 氏

家庭教育支援チーム「とらいあぐる」の皆さんが全戸訪問等をとおして地域社会・家庭教育上の課題をどのように解決してこられたのか、「人と人がつながる家庭教育支援」をテーマに湯浅町の取組を通して発表いただきました。



○参加者の声（抜粋）

- ・「上田さんの話は、とても身近に感じてよかった。参考にしたい。」
- ・「どのような支援が求められているのか、どのような方法があるのか、しっかり学ばせていただきました。」等の感想が寄せられました。

《グループワーク》(15:10～16:00)

先進的事例をもとに、各市町において今後望まれる家庭教育支援方策を探るグループワークを行いました。

